

事業名

当事者の移行期における学びの創造 (地域が人を育て人が地域を育てる実践研究事業)

事業の趣旨・目的

- ・特別支援学校卒業後における学びと交流の場を保障し、障害を持つ青年において移行期に求められる学びを個々に合わせて提供する支援体制を構築する。
- ・特別支援学校在学中から在籍する学校との連携を図り、多角的な本人理解に基づき個に応じた学習内容を編成する。
- ・障害のある青年たちが継続的に学ぶ事の出来る生涯学習の環境整備を実現するとともに地域住民と当事者との相互学習を通じた共生社会の実現を試みる

事業実施体制・連携先

当事者・当事者家族・SCC松本校関係者・松本市
市議会議員・長野県教育委員会・松本市教育委員会・松本市社会福祉協議会・長野県松本
養護学校・専門学校未来カレッジ・松本大学

主な対象

知的／精神／視覚／発達／肢体

活動分野

学習/文化芸術/スポーツ/情報保障/普及啓発

事業内容

【事業1】特別支援学校在学中からの伴走的支援

特別支援学校と情報共有を行い、当事者の個々の特性を反映させた学習カリキュラムを構築する。その際、当事者・当事者家族の意向を反映した伴走的支援を重視する。

【事業2】個々の特性に応じた学習内容の構築

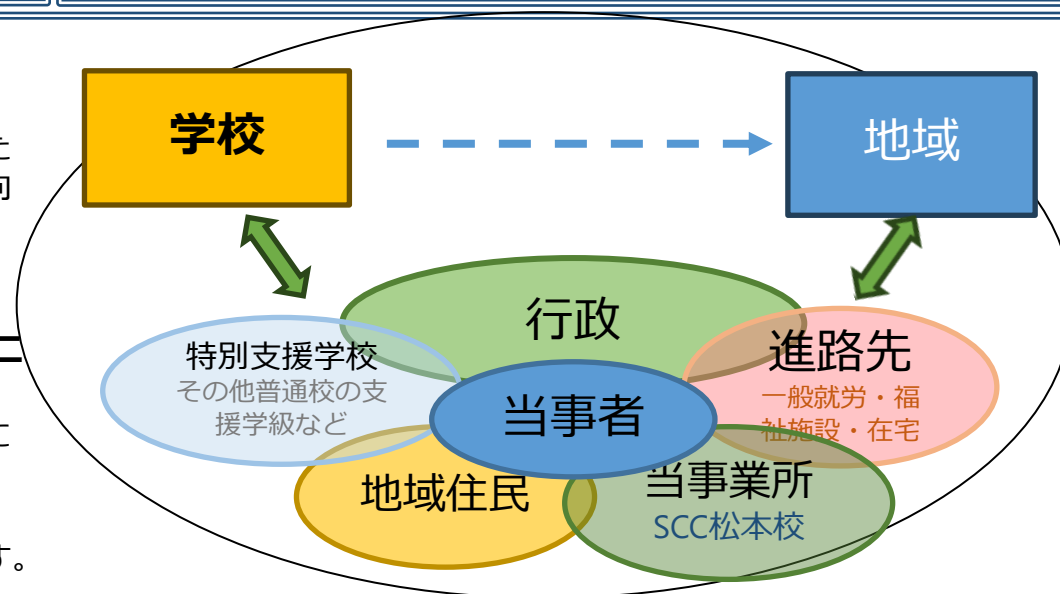
当事者の特性に応じた生活を豊かにするカリキュラムの構築

【事業3】当事者と地域住民の相互交流を通じたコミュニティ構築

地区公民館を活用し、当事者と地域住民の相互交流を図り、相互に支えあうコミュニティの構築に努める。

【事業4】学校から地域への安定的な移行体制の実現

学校から地域への安定的な移行を目的とした支援体制構築を目指す。



事業終了後の目指す方向性

個々の特性に応じたカリキュラムを開発し、地域の実情に合わせた移行支援体制を構築することによって、障害のある青年のもつ主体性を発揮できる機会を創出できると同時に、地域の共生社会実現に寄与することが可能となる。多様な価値観に触れることで、障害のある青年たちも地域社会の一員として認められる経験をすることができる。また地域住民や支援者の側も、障害特性を理解し、当事者の学ぶ権利を保障する取り組みの中で、共生社会の実現に向けた一歩を踏み出すことができる。

その他



Instagram



HP



Gメール



Map